



質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
①山崎 眞幹	1. 協働のまちづくりをめぐって 2. 諸般の報告をめぐって 3. 市民の声から	⑦織田 秀幸	1. 小中学校の用務員 2. 実用英語技能検定 3. 通学費の助成 4. 改正個人情報保護法
②森田 雄介	1. 駅周辺の整備 2. 学校給食費の無償化 3. 災害時協力井戸整備事業	⑧島岡 信彦	1. 地震火災対策について 2. 市民グラウンドの整備について
③山崎 晃子	1. 介護保険に関して 2. 胃がん検診について 3. 買い物難民を出さないために 4. 中山間対策に関して	⑨濱田百合子	1. 核兵器禁止条約に向けて 2. 香美市立図書館香北分館について 3. 地域交通の再考を 4. 自主防災組織について 5. 介護保険について
④比与森光俊	1. 特別支援教育 2. 安全対策 3. 市長抱負	⑩村田 珠美	1. 発達障害の支援 2. 今こそ観光大使を
⑤山崎龍太郎	1. 中期財政計画について 2. 文化財保護について 3. 年金事務について 4. 交通安全対策について	⑪利根 健二	1. 香美市公式フェイスブックページを 2. ふらっと中町
⑥依光美代子	1. ファミリー・サポート・センターの平成30年度開設に向けて 2. 児童クラブの今後について 3. 脳卒中当事者交流会への支援について	⑫大岸 眞弓	1. 「共謀罪法案」の危険性を問う 2. 高知工科大学の意思決定 3. 香美市公共施設等総合管理計画 4. 児童クラブの運営 5. 学校の部活動について 6. 技術系職員の補充について

Q がんばれふると納税

A 体験型の返礼品も



山崎 眞幹 (市民クラブ)

問 総務省からは返礼品3割内の指針が示されているが、本市の返礼品は4〜5割のままか。

中山 繁美 定住推進課長

答 平成29年度末までに返礼品を3割に下げ、今年当初予算では、2億5千万円が計上されるとともに、9月からの雇用を目指して、ふるさと納税担当の地域おこし協力隊の募集も行われている。今後の展望、意気込み等を問う。

答 体験型や観光型の返礼品を増やすことにより寄付者に本市に来ていただき、本市のファンとなってもらい、将来的には移住定住につながっていききたいと考

香美市のふるさと納税の基金残高

かがやきコース (教育・文化)	31,776,000 円
やすらぎコース (福祉・環境)	17,932,000 円
にぎわいコース (産業・まちづくり)	4,505,000 円
市長おまかせコース (市政全般)	57,192,000 円
合計	111,405,000 円

えている。

今年度は、体験型や観光型のコースとして、塩の道ウォーキング、やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム、べふ峡温泉などを巡る3つのコースと龍河洞の冒険コースを予定している。

問 寄付金はコース別に基金に積み立て、適宜使用されていると思われるが、現在のコース別の基金残高、本年度に使用を予定している施策、将来使いたい施策等を問う。

答 現在のコース別基金残高は、上記のとおりである。本年度は、図書を購入を予定している。

将来的には、体験型の観光コースを増やし、打刃物体験教室やフラフ体験教室を行うとともに、香美市のキャラクター13体を生かした施策で、本市の地域活性化につなげていきたい。

Q 自治会の在り方

A 地域の実情に合わせて

問 過日の議会報告会では、自治会に関連した意見・要望等が多く出された。

これら多くの市民の声をニーズと捉え、それぞれの地域の実状に合わせた在り方・役割等を検討する時期に来ているのではないか。

川田 学 企画財政課長

答 各自治会では、その地域の実情に合った形でごみステーションの管理をはじめ、清掃、防災などの活動等、行政と市民とのパイプ役としての役割も果たしていただいている。今後の在り方等については、まちづくり委員会の検討テーマのひとつとして提案する。



行政連絡会 (物部会場)

議会に対するご意見、ご要望は議会事務局までご連絡ください

〒782-8501 高知県香美市土佐山田町宝町1丁目2番1号
TEL 0887 (53) 1093 / FAX 0887 (53) 3233
メール gikai@city.kami.lg.jp

Q 土佐山田駅の周辺整備を

A J R と 協 議



森田雄介 (日本共産党)

の車、小学生の横断、西からの右折車で混雑する。対策を。

井上雅之建設課長

土佐山田駅周辺の整備について聞く。

龍河洞の神の壺のレプリカが、汚れや色落ちしている。塗り直しなどできないか。

西本恭久産業振興課長

神の壺のレプリカは、昭和50年12月5日の国鉄土佐山田駅開業50周年の記念事業として、龍河洞保存会が作製したもので、現在の状態及びご指摘の件は保存会に伝えている。

朝の発車時刻前の駅前、南からの送迎



J R土佐山田駅 神の壺

街灯は暗くて人の視認ができないと聞く。対策を。

西本恭久産業振興課長

現状で十分なものと考えている。

駅北側の整備は。

井上雅之建設課長

J R敷地内に駐車場等もあり、手狭感が拭えない。まずは渋滞が慢性的であるかどうかの調査が必要と考えているが、J R用地となるため、担当課を通じて、J Rとの協議が今後の課題となる。

駅前及び商店街の

Q 学校給食費を無償に

A 学習環境を整えて

この10年、小中学校に係る学習費は減って

おらず、定率減税の廃止や社会保険料等の増加で、家計の可処分所得は減少の一途である。

平成21・26年度の給食費値上げの理由は。

野島恵一教育次長兼 学校給食センター所長

平成21年度は原油価格上昇等の社会情勢の変化、平成26年度は消費税率の改正による食料費等の値上がりに対応するためであった。

増税や物価上昇の影響が全部家計へ集まっている。中でも子育て世代には、負担が大き。近年、給食費を無償化する自治体が増えてきている。本市でも取り組みを。

定住促進等の施策として、給食費の無償化をする市町村が出てきていることは承知している。本市では就学援助が必要な方には給食費の援助も行っている。

平成27年度から給食費の全額援助の対象者を拡大したところであり、他の市町村の動向を注視したい。

法光院晶一市長

まだまだ課題もあり、全体の基本的な底上げを図っている。

給食費負担については、まず厳しい環境にある子どもを対象に改善を行ったところであり、今は本市の子どもたちの学習環境を整えるべく大きな事業を推進している。

給食配送車



給食配送車

Q 買い物物難民支援を

A 県の補助事業に上乗せして



山崎 晃子
(くらしと福祉を守る会)

と市外の3業者を合わせて6業者である。香北地区全域を巡回しているが、西川地区と旧曉霞地区は入っていないと思われる。

近藤浩伸物部支所長

物部地区での移動販売業者は、地元2業者と市外の1業者である。

移動販売業者は、週1回以上地区を巡回しているが、拓、中谷川、頓定、浦山、南池、笹平井、立花等には入っていないと思われる。

既存の商店等に対し、支援策を検討しているか。

西本恭久産業振興課長

香北地区での移動販売業者は地元3業者

委原美貴子香北支所長

このような中、定期的に巡回してくれる移動販売車が、重要な役割を果たしている。本市の移動販売の現状を把握しているか。

品数、商品量を増やすなど、地域住民のために努力している既存の商店を応援する目的で、物部・香北地区で説明会等を行った。

3店舗から店舗改装費や設備費などの支援要望があった。

県の「買物困難地域店舗維持確保事業」を活用することとし、県の補助率3分の1に、市の補助率2分の1を上乗せする。

また、県の補助限度額150万円（総事業費450万円）では十分な支援が行えないので、超過分は市単独経費で賄う総事業費1千万円を限度とする補助金交付要綱を早急に整備する予定である。



Q 胃がん検診で内視鏡も

A 平成30年度から実施

胃がんは早期発見できれば治療率は90%を超える。と聞く。

40歳以上の方は、市が実施している胃がん検診を積極的に受けてほしいと願うものだが、市民の中には「胃の検査でバリウムを飲むのがどうしてもイヤ」という声もある。

本市の検診率向上のためにも、胃カメラによる内視鏡検査を導入し、X線検査と内視鏡検査の選択制にしてはどうか。

前田哲夫健康介護支援課長

県の実施指針に基づき、「胃内視鏡検査」と「X線検査」を選択することができるよう、平成30年度からの実施に向けて準備を進めている。



Q 2期目への挑戦は

A 課題前進に全力



比与森光俊
(公明党)

いて、特に気掛かりになっている点など、今後の市政運営に対する抱負は。

法光院晶一市長

市長の任期も残すところ10カ月となった。残された期間にお

「安心・安全のまちづくり」については前進が図られている。



執務中

「活力・元気なまちづくり」では、農林業後継者づくり、木材住宅支援、農業施設支援などはギアを上げた。

県産業振興計画と連動する、ものづくり会議、アンパンマンミュージアム・龍河洞周辺の活性化、鍛冶屋の学校などは大きな可能性がある。

図書館・プール、都市

計画道路、山田バイパス、大桁橋架替えなどは着実に推進する。

問 来年3月には、市長選挙が実施される。これまで市政運営に対する市長の熱い思いを数々拝聴してきた。2期目への挑戦に対する素直な心境を。

答 課題前進に全力を上げており、次期への表明については今少し時間をいただきたい。

安全対策として効果の大きなドライブレコーダーは、車への搭載がここ5年間で10倍に伸びている。搭載している業務用トラックや乗り合いバス、タクシー

Q 公用車にドライブレコーダーを導入を検討



ドライブレコーダー（救急車）

1などによる交通事故が大幅に減少している。

問 本市公用車による平成27・28年度の自損事故も含めた事故発生件数は。

柳本隆司管財課長

答 平成27年度15件、平成28年度22件。

問 ドライブレコーダー

1に対する認識と、公用車への搭載に対する見解は。

答 ドライブレコーダーは映像・音声などを記録する自動車用の車載装置である。事故時の映像を記録し、事故処理をスムーズにすることが安全運転の意識

を高めることに役立つ。公用車による事故はあってはならない。職員的安全運転意識、運転マナーの向上に役立つ。交通事故発生時における責任の明確化を図れるのであれば、導入について検討したい。



山崎龍太郎 (日本共産党)

Q 文化財の指定、管理活用は

A 伝承活動や、地域学習に

岡本博章生涯学習振興課長

答 香美市指定の有形文化財63件、無形文化財6件、国登録有形文化財14件である。

文化財は「その保存、活用のため必要な措置を図り、もって市民の文化の向上に資することを目的とする。」と

問 条例で規定されている。文化財の指定、管理の状況は。

答 発掘による出土品

有形文化財の管理は、巡視員2名が適正な管理指導を行っている。また、無形文化財は保存会が伝承活動を行っている。

問 出土品、民具等の保管及び活用は。



発掘された出土品

は、楠目文化財事務所、民俗資料は明治倉庫等で保管している。

民俗資料は施設を開放し、地域学習などで活用している。また、無形民俗文化財は、文化展や香美市合併10周年記念事業などで公開している。

各支所において期間限定の展示を行いたい。

無形民俗文化財の「いざなぎ流舞神楽」などは、各種イベント等への出演を保存会に呼び掛け、市内外に周知したい。

常時公開できる施設の必要性について見解を。

井上雅之建設課長

通学路でもあるため、できる限り現道を通しながらの拡幅工事

新町西町線の工事は相当な期間を要しており、児童の安全な通学に対し不安の声が寄せられている。

踏切、道路の拡幅時における仮の舗道の設置等の考えは。

Q 新町西町線、仮の舗道は

A 歩行者用に整備検討



通学路の安全確保を

あけほの街道から真つすぐ南進し、山田小学校前踏切まで児童生徒が安全に通えるような対策を求める。

歩行者の安全、特に通学児童の安全が最優先であると考えている。ただし、1日でも早い完成が一番の解決であるため、今までの以上に国・県への要望活動を行い、予算確保に努めていく。

を計画している。予算等にもよるが、通学スペースの安全性も確認の上、歩行者用舗道等の整備検討はしていく。



かたじ児童クラブ入口

本年度予定の児童クラブ建設用地は取得に時間を要するので、並行して、かたじ児童クラブの建設ができたか。

既存施設内の危険箇所は、早急に対策を講ずるべきではないか。

危険箇所の修繕は、行っていく。



依光美代子 (香美市をよくする会)

Q 児童クラブの今後は

A 環境整備は重要

横山和彦教育振興課長

学校内に用地が確保できる施設は、できるだけ並行して進めていきたい。

問 県任せでなく、指導員への市単独研修を工夫すべきではないか。

答 県が実施する認定研修やステップアップ研修などを受講している。市単独の研修については、検討したい。

問 保護者会へ指定管理者として運営を任せると、来春の契約更新時には見直すべきではないか。

法光院市晶一市長

答 児童クラブの改善については、議会からも提言をいただいております。「子どもが同じサービスを受けられる環境」と「児童クラブを支えていただいている方が同じ条件となること」が大切と考えています。

問 放課後児童クラブの位置づけを香美市教育基本計画の見直し時期に明記すべきではないか。

横山和彦教育振興課長

答 位置づけしていきたい。

Q 脳卒中当事者交流会事業を

A 目的や効果を精査して

問 脳卒中当事者が主体的に呼び掛け、交流会を開いている。

参加者はお互いに刺激を受け、明るく前向きになり、閉じこもりなどの症状も改善しているが、交流会場の定期的な確保に苦慮している。

担当課の所管事業として取り組めないか。

佐竹教人福祉事務所長

答 会場の確保に関しては、主宰者から要望があれば、関係機関等と協議し支援について検討する。

また、事業化については、目的や効果、関連制度との適合性、他団体との均衡等を精査した上で、行政として判断していく。



なごやかに交流

Q 通学費の助成は

A 検討したい



織田秀幸
(公明党)

問 本市の小中学校の児童生徒が、諸事情により校区外通学となる場合について

答 特に、中学校の校区外通学は条例適用外で通学費の補助はなく、大きな負担となる。保護者の負担軽減と生徒の健全育成を図るための補助が必要では。

横山和彦教育振興課長

問 現在、校区外通学の児童生徒については、補助の対象外となっているが、検討したい。

大栃中など小規模

答 校では、きめ細やかで適切な指導が可能となる。補助金の実現で校区外を望む生徒も今後増えるのでは。

問 通学費の負担が軽減した場合、実情に合った教育環境を望む生徒が増える可能性があると思われる。

問 本市の小中学校に配置されている用務員の正職及び臨時職員数は。

答 横山和彦教育振興課長
正規職員は2名、臨時職員は11名となっている。

Q 用務員さんの通年雇用を

A 研究が必要



バスターミナル



問 臨時職員の場合は空白期間がある。環境整備の対応等、教職員の負担増につながっているのでは。

答 数日間であるが、負担増につながっているとと思われる。

問 空白期間の解消策として、正規雇用か臨時でも通年雇用が必要と思うが、見解と今後の対応は。

山中俊明総務課長

答 正規雇用については、定員管理や行政改革の観点から難しい。通年雇用については他市町村の動向や長期的財政状況も含めた研究が必要と考えている。

Q 地震火災対策は
A 課題があきらかになった



島岡信彦 (自由クラブ)

問 南海地震対策については、重点施策の大きな柱のひとつであり、さまざまな取り組みを継続していくことが重要である。

高知県地震火災対策指針の中で震災時において重点的に推進する地区として、西本町1(5丁目、東本町1(5丁目、百石町1丁目、旭町5丁目)が指定を受けており、地震による火災対策を進めている。これまでの取り組みと課題、そして、今後の方針を問う。

中山泰仁防災対策課長

答 平成27年6月、高知県から本市を含む県内11市町の19地域が、地震火災対策を重点的に推進する地域として示された。これを受けて、平成28年度に香美市地震火災対策計画を策定した。



まちなかの露地

たアンケート調査、自治会・自主防災組織の代表者による2回のワークショップを行った。感震ブレーカーの設置、耐震改修、家具の転倒防止などの対策が実際には余り取られていないことが明らかになり、取り組むべき課題が示された。

今後は、計画に基づき個人、地域、行政のそれぞれの立場で、出火防止、延焼防止、安全な避難の取り組みを進めることを対策の方針とする。

Q 市民グラウンド水はけが...
A 31、32年度に整備事業



市民グラウンド

しかし、利用者の方々から水はけの悪さ、一部照明の暗さ等についての指摘があった。鏡野中学校プール解体後における整備計画は、

岡本博章生涯学習振興課長

問 市民グラウンドは、旧土佐山田町時代より広く市民に利用されている社会体育施設である。ここは、夜間照明があるため、ソフトボールやナイターリーグ、鏡野中学校野球部が利用している。

答 市民グラウンド全体の整備事業と捉え、市民の方が安全で快適に利用できる施設に向けて、平成31年度及び32年度に実施する計画である。

Q アンパンマン図書館を文化財に

A 建物は撤去の方向



濱田百合子 (日本共産党)

通称「アンパンマン図書館」は築87年になる。

問 平成27年度の来館者数6148人、貸出人数2864人、貸出冊数7417冊である。昨年度の状況は。

岡本博章生涯学習振興課長

答 来館者数6730人、貸出人数3410人、貸出冊数9298冊である。

問 香北町の人口は、1年間で102人減少したが、利用増の要因は。



アンパンマン図書館

問 歴史的建造物として書籍でも紹介された文化財として保存しては。

答 文化財として保存するためには、耐震工事や全体的にリフォーム工事を実施する必要が生じ、新築と同等の改修費用が想定されること。また、施設の維持管理費等が発生することなどを考慮すると、図書館は移転し、建物は撤去する方向で検討したい。

答 子育て世代のための「どんぐりの会」に参加した親子が増えたことに加えて、チラシの配布や保護者への声かけなどを行ったことが、来館者増につながったと考える。

問 改築や移転等も含め検討委員会で協議はされてきたか。

答 具体的な検討はさ

Q 自主防災組織にサポートを

A 地域に向向いての支援必要

問 組織率は。また、実際訓練に参加している世帯の把握は。

中山泰仁防災対策課長

答 平成29年4月1日現在で96・72%である。世帯単位での訓練参加数は、未調査である。

問 住民参加と周知が必要である。地域に向向いての支援は。

答 抱える課題の内容を検討した上、地元に向向いて支援することも必要と考える。

問 要配慮者台帳に基づき実践的な訓練を。

答 今後、個別支援計画策定の進捗に合わせ、自主防災組織に訓練実施を呼び掛けていきたい。

問 住民の防災意識向



防災訓練

上のため防災士の連絡会を。

答 現在のところ、公費負担で養成した防災士には、所属する自主防災組織において、核心的な役割を果たすことを期待している。

組織の枠を超えて連携し、横断的に活動すること、個人で資格を

取得した防災士を貴重な人的資源として活用することなどの観点から、連絡会の必要性を検討したい。



発達障害児への支援は

A 日々の教育活動の中で



村田 珠美 (自由クラブ)

支援を。
問 早期発見の手だては。

前田哲夫健康介護支援課長

子どもの障害の種類は多岐にわたり、症状もさまざまである。特性を生かして暮らせる

答 乳幼児健診で、保護者への問診や子どもの発育、発達の経過などから早期発見に努め、経過を見ていく中で、

専門機関受診を勧めている。

問 識字障害(ディスレクシアによる「見る力」の弱い子ども)への対応は。

時久恵子教育長

答 日々の教育活動の中で見取りを大切に、個々の課題に合わせて指導している。効果が確認されている

「読みと書きのアセスメント教材」を全ての小中学校で購入し、指導の際の資料としている。

問 臨床心理士や保健師等による、個別相談は充実しているか。

前田哲夫健康介護支援課長

答 乳幼児健診では、現在心理士が検診スタッフとして対応している。また、二次検診やのびのび相談室などで、発育を見守っている。

問 発達障害の世間への認知度の低さが原因で、傷つく本人と家族がいる。地域の方々の理解・協力・支援が必要である。今後の取り組みは。

時久恵子教育長

答 社会全体の障害理解が進むように、学ぶ機会を多く提供していく。現在、高知大学が行っている「特別支援教育理解開講講座」も本市で受講できるようにしているのので、ホームページなどを通して市民にもお知らせしていく。

西本恭久産業振興課長

答 高知県下で大使を任命している市町村や近隣の状況を調査したが、庁内での協議はできていない。

問 たくさんさんの観光大使は地域力につながり、魅力的なまちづくりに大きく貢献してくれると期待する。見解は。

答 観光大使については、名刺によるPRや市のイベントに招致するなどにより、一定のPR効果はあると認識している。

問 現在ある観光地と新たな取り組みについて、活気が出るPR努力が重要では。

答 本市は、アンパンマンミュージアムや龍河洞など高知県でも有数の観光地を有しており、これらの観光地を全国に発信するよう、現在、物部川流域で広域観光への取り組みを進めている。

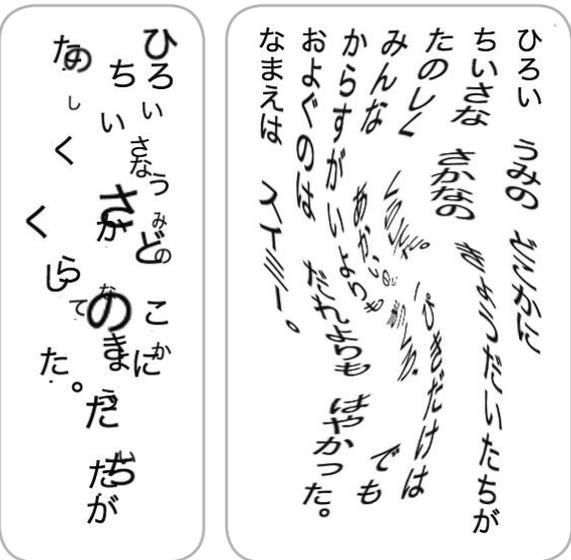
本市単独での観光誘致でなく、物部川エリアでの観光誘致の戦略を考えていく中で、物部川DMO協議会で議論していく。

問 四万十市のような先進地に行き研修を。

答 まずはインターネットによる情報収集や電話による聞き取りで対応できると考えている。

問 未来に向け、まず観光大使を。

答 物部川DMO協議会で議論していく。



識字障害による見え方の一例

Q 三山ひろしさんを観光大使に

A 物部川DMO協議会で検討

問 本市に縁のある、三山ひろしさんを観光大使にと提案した。その後の経過は。



龍河洞アーケード



ふらっと中町

ふらっと中町は、商店街活性化・自治会や



利根 健二 (市民クラブ)

防災会等の活動支援・交流人口及び定住人口増加・ライブ等の文化的事業・児童の見守り・ラジオ体操等、さまざまな事業で効果を上げています。

Q ふらっと中町の存続は関係者らと協議して

西本恭久産業振興課長

さまざまなイベント・事業のみならず、地域コミュニティの場として利用されている。

新規創業希望者等の育成及び出店を支援するチャレンジショップ事業を展開するなど、ソフト・ハード面ともに、利用価値の高い施設だと捉えている。

権利関係者・商工会・多岐す街協同組合・地元町内会等で協議の場を作り、ここを「市民のために恒久的に活用できる場所」にできるように検討しては。

商店街の情報発信及び地域活動を行う拠点としての存続を、関係する方々と協議していきたい。また、地域で具体的な計画があれば示してほしい。



©やぐせたかし 龍河洞リユークン

保存・検索機能・体系的な構成に優れたホームページと、即効性・メッセージ性、手軽さ、拡散性に優れたフェイスブックを上手に使い分けていくのは、官民を問わず主流となっている。

開設を提案してから4年経過した。そろそろ決断してはどうか。今後、ホームページやSNSも含めた情報公開・発信の在り方について、検討組織を設置して研究していく。

Q フェイスブック活用は検討組織を設置

山中俊明総務課長

SNSは全国自治体の60%程度が、高知県でも13市町村が活用しており、情報発信のツールとして有効である。



本会議をライブ中継や録画で見れます
「香美市ホームページ」から「香美市議会」をお選びいただき、「議会中継・傍聴」の「議会中継(外部リンク)」をクリックしてください
http://smart.discussvision.net/smart/tenant/kami/WebView/



問 「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ組織犯罪処罰法が、参議院で委員会の質疑・採決も省



大岸 眞弓 (日本共産党)

Q 「共謀罪」法の危険性

A 危惧が杞憂に終わるように

略して可決強行された。安倍内閣の暴挙に抗議する。

同法は、テロリスト集団は処罰対象としていない。また、「共謀罪」は既遂処罰を原則とする刑法体系を覆し、国民の内心や表現の自由を脅かす。

国連からも危険性を指摘された同法は、国民の理解も得ていない。強行採決は間違いだったのでは。

法光院晶一市長

答 法律が成立した現在、多くの危惧が杞憂に終わるように、今後「心配ない」と繰り返し政府答弁が遵守されることを願う。

Q くじら・かたじ児童クラブ

A 施設の整備、運営を改善

くじら児童クラブ

問 用地取得の見通しと着工年度は。

横山和彦教育振興課長

答 用地取得の時期は未定だが、順調に取得できたとすれば、平成30年度に着工できると考えている。

問 現施設は老朽化し、危険だ。専門家の意見も取り入れ、安全対策を。

答 点検を行い、可能な修繕を実施する。

問 国の基準にふさわしい単位と、指導員の待遇改善を求める。

答 国の基準を満たした施設の整備と指導員の処遇改善を進めていく。



くじら児童クラブ

Q (かたじ児童クラブ)

問 陳情書の採択や、保護者らの要望を聞き入れ、専用施設の予算化を。

答 次年度に設計の予算を計上する。

お詫びと訂正

議会だよりの前号、第45号の19ページの甲藤邦廣議員の工業用水施設に関する質問の答弁で、記述にミスがありました。2 段目最初の答で、総事業費は「28億8499万2千円」は、「2億8499万2千円」の誤りでした。お詫びして訂正します。

編集後記

今期定例会での一般質問では6名から学校に関する質問があった。給食費・通学路・放課後児童クラブ・通学費・発達障がい等々。

これらの質問は、本市の児童生徒が学校生活で充実した日々を送り、健全に育つよう行政の対応を問うものである。この一つ一つの積み重ねが、やがては実現へとつながる。

今回、裏表紙は、アメリカ合衆国フロリダ州、ラーゴ高校・短期留学生と受け入れの山田高校生らが登場。留学生はホームステイにて香美市の食材や名所など「楽しく充実した日々を過ごせた」とのことである。交流体験を終え、空港での見送りで生徒たちは大粒の涙。生涯の絆をより強く結ぶ涙と願うものである。

(織田 秀幸)